

福祉生活病院常任委員会資料

(令和5年12月18日)

【件名】

- シン・子育て王国とっとりフェスの開催結果について (子育て王国課) 2

子ども家庭部

シン・子育て王国とっとりフェスの開催結果について

令和5年12月18日
子 育 て 王 国 課

子育て世帯をはじめ子育て支援に携わる方が楽しく参加し、地域での子育て応援の機運を盛り上げることを目的に「シン・子育て王国とっとりフェス」イベントを開催しましたので、その概要を報告します。

1 実施状況

- (1) 日時：令和5年12月17日（日）午前10時から午後3時まで
- (2) 会場：米子コンベンションセンターBIGSHIP 2階 国際会議室
- (3) 入場者数：約1,800人
- (4) 内容
 - ・オープニングアクト（みずほ幼稚園園児による歌・ダンスの発表）
 - ・シン・子育て王国とっとり表彰・第14回子育て川柳コンテスト表彰式
 - ・子育てフォーラム（子ども（中学生）、子育てに携わる方4名と子育て施策を討論）
 - ・キャラクターステージ「ドラえもんショー」
 - ・赤ちゃんハイハイレース



2 シン・子育て王国とっとり表彰・第14回子育て川柳コンテスト表彰式について

(1) シン・子育て王国とっとり表彰

地域における優れた子育て支援活動を行ってこられた個人、団体等を表彰することにより、取組を広くPRしていくことを目的に今年度から実施。

ア 団体部門（知事表彰2団体）

①子ども食堂ネバーランド（代表 辻 聡 氏）

〔功績〕平成29年から子育て支援活動として、発達障がい、不登校、虐待など困難を抱える子どもや子育て世帯、生活困窮家庭などに対して、地域における居場所の提供（子ども食堂、ベビーマッサージとお母さんとの昼食会）や子育て支援勉強会などを開催。令和2年からは食材提供（フードパントリー）を実施するなど、幅広い層に向けた活動を精力的に行っている。

②ゆりはま子育てネットワークくぶくぶ（代表 市川 義章 氏）

〔功績〕令和4年から子育て支援活動として毎月2回、助産師や看護師による母親のケアカウンセリングを行うサロンや子どもの見守り、親子で過ごせる遊び場（色々な遊びブースや生き物とのふれあい）を提供し、湯梨浜町において子育て中の親の交流の場を設け、情報共有や子育て相談等を行うことで保護者の孤立防止に繋げている。

イ 個人部門（知事表彰3名・教育長表彰2名）

①知事表彰 美田 耕一郎（みた こういちろう）氏

〔功績〕米子市子ども会連合会役員、県子ども会育成連絡協議会長、中国・四国地区子ども会連絡協議会会長のほか、令和4年からは全国子ども会連合会長の要職を歴任し、「子どもの体験活動」を通じた地域の活性化に尽力されている。

②知事表彰 西浦 公子（にしうら きみこ）氏

〔功績〕平成2年から絵本の読み聞かせ「おはなし訪問隊」を開始。平成14年に「ぷろじえ

くとえん」を立上げ、小中学生向けの赤ちゃんふれあい会、道の駅等と連携した岩美こども食堂を実施。鳥取県青少年育成アドバイザー協議会会長。

③知事表彰 福田 健治（ふくた けんじ）氏

〔功績〕平成4年から倉田地区子ども会役員として、他地区の子ども会と交流や遊びを通じた国際交流を推進。平成11年から鳥取市子ども会連合会の役員として、ジュニア・リーダーの育成に携わる。ほか平成21年からは鳥取県子ども会育成連絡協議会の役員として、全国や中四国地区の大会の企画運営に参加。

④教育長表彰 山田 節子（やまだ せつこ）氏

〔功績〕平成5年に「児童書を楽しむ会つくしんぼ」を立ち上げ、読み聞かせなど子どもに絵本やお話の楽しさを伝えるための取組を実施。令和3年から逢坂地区地域学校協働活動推進員として、精力的に地域と学校をつなげるために活動されている。

⑤教育長表彰 高橋 義博（たかはし よしひろ）氏

〔功績〕青少年育成協議会会長として、地域の子どものための防災教育、セカンドスクール（宿泊体験）等を実施。平成24年から倉吉市子ども会育成連絡協議会の会長として、会員加入率の増加、子ども会活動の活性化、ジュニア・リーダー育成に尽力されている。

(2) 第14回子育て川柳コンテスト表彰

子どもから大人まで子育てに対する関心を高め、「子育て王国鳥取県」の機運を盛り上げることを目的に平成22年からスタートし、今回14回目を迎えた。大人の部498作品、中・高生の部199作品、小学生の部400作品、計1,097作品の応募があり、各部門の最優秀賞、優秀賞に選ばれた知事表彰作品を表彰した。

・大人の部

最優秀賞：「手を繋ぐ いつかはばたく 小さな手」毛利 なつみ(もうり なつみ)さん 鳥取市
優秀賞：「休みなの？ 育休パパへ はずむ声」小椋 悟志(おぐら さとし)さん 倉吉市

・中・高生の部

最優秀賞：「ほんとはね 伝えたいんだ ありがとう」木山 綾香(きやま あやか)さん 米子市
優秀賞：「じいばあちゃん 私の最強 応援団」金海 結愛(きんかい ゆうな)さん 米子市

・小学生の部

最優秀賞：「起きなさい 休みの日には 僕が母」木村 心哉(きむら しんや)さん 境港市
優秀賞：「ママスマホ 私の成長 つまってる」米原 花恵(よねはら かえ)さん 米子市

3 子育てフォーラムについて

子ども（中学生）、子育てに携わる方4名と亀井副知事が子育て施策をテーマに意見を交わし、登壇者から「シン・子育て王国とっとり」に向けて提言をいただいた。

登壇者	提言概要
橋谷 海希（はしたに みき）さん 橋谷 朝陽（はしたに あさひ）さん （みずほ幼稚園保護者・園児）	県内に新しい産前産後ケア施設が増え、多くの方が利用できるよう、更なる充実と、一時預かりの利用料支援を提言したい。
中田 和也（なかだ かずや）さん （ホップシャス代表、いいじゃんプロジェクト副代表兼GM）	公民館など既存施設の活用や官民連携のイベントへの支援、幼少期からの障がい・外国人児童との交流や子どもたちの生の意見が届く仕組みを提案する。子どもたちが望むことを実現してもらいたい。
木山 綾香（きやま あやか）さん （米子市立福生中学校2年生）	親や子どもが気軽に相談できる窓口として、悩み相談用の県公式LINEを作ることを提案する。
角田 幸子（つのだ さちこ）さん （整理収納アドバイザー）	行政、民間団体等が行う子育て支援をひとつに繋げるため、新たに「子育て鳥取モデルを作る会」を発足させ、地域の皆さんと一緒に鳥取県を良くしたい。

提言を受け亀井副知事から次のコメントがあった。

- ・産後ケア施設を県内に展開し、施設の情報を届けることが行政の責任と考える。
- ・地域の繋がりが希薄になっている中で、例えば放課後に子ども達や色々な年代の方が公民館に集まりそこで繋がるような切り口も考えなければならない。
- ・気軽に相談ができ、うまく情報を繋げ相談内容を解決できる体制を検討したい。
- ・支援団体がネットワークでつながり、県全体の子育て支援の機運が醸成できれば良い。